

# 第 16 回研究大会（2022 年開催）について

## i. 大会日程のご案内

運営委員会・理事会における議論を経て、第 16 回研究大会は 2022 年 6 月 25・26 日にオンライン大会として開催されることになりました。

尚、参加の手続き（詳細）に関しましては、2022 年 4 月以降に改めてお知らせします。一般報告の申し込みは、2022 年 2 月 5 日（必着）までに出来るだけメールにて申し込みください（詳細は、後述）。

オンライン大会では「zoom」という Web 会議用のアプリケーションソフトを使用する予定です。参加を希望される方には安定したインターネット環境のご準備をお願いします。

### ◆日程(案)（\*昨年を参考に仮設定しています）

◇1 日目（6 月 25 日）仮設定：詳細は後日に調整

12：00～12：45		13：00～15：20		15：30～17：50
総会	休憩	シンポ第一部	休憩	シンポ第二部

◇2 日目（6 月 26 日）仮設定：発表申し込み状況にて後日に調整します

9：30～12:05		12：30～15：05		15:30～17:30
一般研究発表第一部	休憩	一般研究発表第二部	休憩	ワークショップ

## ii. 大会シンポジウムについて

### ◆テーマ（企画案、2021 年 1 月 5 日、臨時運営委員会・理事会にて決定）

ポストヒューマン時代が問う人間存在の揺らぎ  
～人間能力拡張（AI・アバター等）がもたらす将来世界とは？～

（開催趣旨）

総合人間学会の設立時の状況をはるかに超える事態が現在進行中です。従来の人間観やその存在基盤をゆるがす事態を前にして、改めて総合人間学の存在意義が問われています。昨年度大会シンポジウムでは、「人新世と AI 時代における人間と社会を問う」をテーマに人新世（アントロポセン）という地質学的な新時代に突入した人間社会に関して、持続可能な社会を見据える視点から問題を議論しました。

今期大会シンポジウムでは、人新世・AI 問題に関するさらなる掘り下げとして、とくに AI / ポストヒューマンをめぐる議論を深めたいと考えます。ポストヒューマン、ネオヒューマン、トランスヒューマニズム（超人間主義）が大きく台頭してきた背景には、AI 技術や情報・生命科学などの飛躍的、加速度的な発展があります。とくに、U.ハラリ著『サピエンス全史』『ホモ・デウス』などを契機に、人間自体のバージョンアップを視野に入れた問題提起（ポストヒューマン）と書籍の刊行が続いています。

若い世代のスマホ依存症、心身障害・疾患を改善・補強する新テクノロジーの開発、さらに新型コロナパンデミックやカーボンニュートラル（脱炭素）の社会転換を契機に、AI・IoT・メタバース（超仮想空間）、デジタル経済が急加速度的に進展しています。そこには光と影の世界が見え隠れしており、けっして楽観視できる未来が期待できるなどとは言えないでしょう。今回あらためて人間存在の在り様を「ポストヒューマン」の視点から照らし出すことで、既成概念を揺るがす地平からの議論を深めてみたいと考えます。総合人間学に集う多分野からなる本学会員の総力を結集して、本テーマを議論し掘り下げたいと思います。

報告 1 (仮題・案)

ポストヒューマン時代が揺がす人間らしさ -思想・哲学の視点から  
上柿崇英 (大阪府立大学准教授/環境哲学・現代人間学)

報告 2 (仮題・案)

AI化する神・芸術・性が導く人間精神の在り様とは? -宗教学の視点から  
木村武史 (筑波大学人文社会系教授/宗教学)

報告 3 (仮タイトル・案) <学会外ゲスト招聘>

AI、ロボット、アバターと私達はどうか共存するか? -情報倫理の視点から  
久木田水生 (名古屋大学大学院情報学研究科准教授/技術哲学・人文情報学)

報告 4 (仮題)

AI IoT 社会を生きる子どもたち -「子ども学」と脳科学から考える  
中村俊 (株)コルラボ (AI/IoT 系のベンチャー) 東京農工大名誉教授 (神経工学)

-----

\* 報告は各 40 分程度。

前半にて、報告 1・2 と、簡単な質疑 (10~20 分)。13:00~14:50 少しの休憩 (10 分) を挟んで後半にて、報告 3・4 と、簡単な質疑 (10~20 分)。15:00~16:50 少しの休息 (10 分)、シンポジスト全体での意見交換と全体討論 (50 分)。17:00~17:50 (予定)

### iii. 「一般研究発表」の新規申し込みについて

2022 年第 16 回大会に向けて、一般研究発表を募集いたします。

研究発表申し込みの受付期間は 2022 年 1 月 11 日から 2 月 5 日 (必着) です。

発表は 1 人 1 回とさせていただきます。2 人以上の共同発表の場合も原則として、1 回の発表とカウントいたします。ただし、時間枠の延長・拡大は可能です。必要がある際は、事務局までご相談下さい。

なお、発表は大会実行委員会での承認をもって決定いたしますので、申し込んだ段階では発表と決まったわけではありません。発表が承認された後、改めて確認のお知らせをいたします。

大会プログラムに掲載する原稿の詳細についても、そのさいに改めてお知らせいたします。発表のお申し込みは、別紙の「2022 年 第 16 回大会研究発表申込書」をご活用いただき、必要事項ご記入の上、以下の宛先までご連絡下さい。

※発表時間は 35 分 (報告 25 分+質疑 10 分) です。

[お申込み宛先]

E-mail: [contact@synthetic-anthropology.org](mailto:contact@synthetic-anthropology.org)

※可能な限り、メールでのお申込みをお願いします。申し込みに関する必要事項を本文に直接ご記入頂いても構いません。

### iv. 会費の納入について

「一般研究発表」で報告を希望される方は、申請の際、会費の完納が前提となりますので、過年度分も含め、会費の納入には十分ご注意ください。

**\*同じく今年度会費が未納の方は、早めの納入手続きをお願い申し上げます。**

尚、郵便局に口座をお持ちの方は、口座間の電信振替により、ATM 上の操作で学会の振替口座に会費を払い込むことは可能です。その場合、学会の口座情報が必要になりますので、今一度下記に確認、記載します。

振込みには各種方法がありますが、ゆうちょ銀行の ATM で払込取扱票をご利用の場合は、窓口備え付けの青の払込取扱票をご利用ください。

#### 記

**加入者名：総合人間学会（ソウゴウニンゲンガクカイ）**

**口座記号番号：00180-2-579072**

ATM の操作、振込用紙など、手続きの詳細は、窓口となる郵便局のスタッフにお尋ねください。

会費納入の段、よろしく申し上げます。

以上